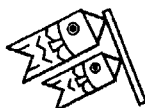


～メッセージ～
みなみの風に乗せて



今回は、皆実小学校の特別支援学級《たんぼぼ学級》についてご紹介します。

たんぼぼ学級は北校舎の1階にあります。東側からたんぼぼ1組、たんぼぼ2組、たんぼぼ3組、プレイルームという配置になっています。

◎ どうしてたんぼぼ学級という名前なの？



たんぼぼ学級は異なる学年の児童が共に学んでいるため、〇年〇組という呼び方ができません。かといって担任の名前の□□□学級とすると担任が交代するたびに混乱を招きます。そこで、みんながよく知っていて親しみのある花の名前「たんぼぼ」が学級名になったということです。ちなみに翠町小学校は「わかば」、大河小学校は「ひまわり」です。

◎ どんな勉強をしているの？

たんぼぼ学級を訪れた児童のほとんどがする質問です。通常の学級の時間割にはない名前を見つけて質問をします。たんぼぼ学級では、国語や算数などの各教科の学習の他に、教科・領域を合わせた指導として、「日常生活の指導」「遊びの指導」「生活単元学習」というものがあります。

- ☆ 日常生活の指導は、児童の日常生活が充実し、高まるように日常生活の諸活動を適切に指導するものです。衣服の着脱や排泄、あいさつ、清掃、食事指導、身辺整理等です。
- ☆ 遊びの指導は、児童が興味関心を示す遊びや友達との関わりの状態を観察し、自由遊びと課題遊びを適宜取り入れ、児童の情緒を安定させ、社会性を育てていくものです。
- ☆ 生活単元学習は、児童の生活上の課題処理や問題解決のための一連の目的活動を組織的に経験することによって、自立的な生活に必要な事柄を実際的・総合的に学習するものです。学校行事と関連した活動、季節の生活に関する活動、社会生活に必要な事柄・活動、調理活動等を単元としてまとめていくものです。運動会、七夕、お月見、校外学習、「おいもパーティーをしよう」などの学習です。



説明をすると
「いいなあ」「楽しそう」と
いう声が返ってきます。

◎ どうしてたんぼぼ学級にいるの？

低学年の児童ほど、素朴に疑問をぶつけてきます。だからこそこちらも真剣に答えます。

たんぼぼ学級1組・3組は知的障害学級、たんぼぼ学級2組は情緒障害学級と書類上は定義されています。しかし、「障害」ということばを理解し説明することは大人でも難しいことです。ましてや理解力の十分でない低学年にはもっと難しいことです。

そもそも、「この子には△△の障害があります」と診断するのは医師の仕事であり、私たち教育に携わる者がすべきことではありません。

例えば、「自閉症」と診断されても、子どもによってその姿はまったく異なります。いくら「自閉症」という障害について詳しく知っていても、それで指導ができるかどうかは別の問題なのです。AさんやBくんがいったいどのような特徴やよさをもっているのかということをお話にしていかなければなりません。一人一人の課題を設定し、個に応じた教育をするのがたんぼぼ学級なのです。

「〇〇ちゃんと友だちになってよく知ってね。〇〇ちゃんが何をしたいかわからなくて困っているときは教えてあげてね。みんなと同じ速さで勉強するのは難しいから、ゆっくりと時間をかけて、一番勉強しやすいところで勉強するの。それがたんぼぼ学級なのよ。」

通常の学級にもいろいろな課題を抱えた子ども達があります。お互いの違いを理解し、お互いを認め合っていくことができれば素晴らしいと思います。



◎ どうして交流をするの？

交流教育の意義

- ☆ 特別支援学級の児童にとっては、生活経験を広め、豊かな学習刺激の中で能力を伸張する機会となります。また、集団活動を通して社会性を育むことができます。
- ☆ 通常の学級の児童にとっては、特別支援学級の児童と共に活動を通して、理解を深めたり、思いやりの気持ちや自らの生き方を考えるなど、豊かな心を育てることができます。
- ☆ 指導に当たる教師にとっては、一人一人の児童に応じた教育の在り方とその大切さを知る機会となります。また、担任間で話し合っ指導に当たることにより、指導の効果があがります。



次回は、「ことばと
きこえの教室」について
ご紹介します。